



令和3年7月会派勉強会にて鳥取市中心市街地を展望して

私たちが会派新生は、「市民福祉の向上」「市政の発展」に寄与し、豊かな自然環境と先人がつくり上げてきた歴史・伝統・文化を次世代に引き継ぎ、未来につながるまちづくりのため、全力で市民の負託に応えるべく政策研究や実践に取り組んでいます。その成果を活かし、2月・6月定例会において市政発展のため議論しました。



令和3年7月会派勉強会にて鳥取市担当課と意見交換

## 令和3年7月 会派勉強会

鳥取市役所7階

会派新生は本市の現状や課題を把握し、議会活動に反映させるべく、会派勉強会を行いました。(このほかの勉強会については4ページをご覧ください)

### 第44回 鳥取砂丘西側の取組について (7月6日)

特に、砂丘西側の令和4年～5年に整備予定の「浜坂側利用拠点ゾーン」と、リゾートホテルが2年延期された令和6年整備予定の「多鯨ヶ池側利用拠点ゾーン」に関して、滞在型観光施設整備の市場調査結果をもとに、今後の進め方などについて意見交換を行いました。また、砂の美術館北側を含む「馬の背側利用拠点ゾーン」の整備を含め、鳥取市の稼ぐ力を強化し、市民の所得向上につながるよう経済波及効果の大きな今後の施策を要望等を行いました。

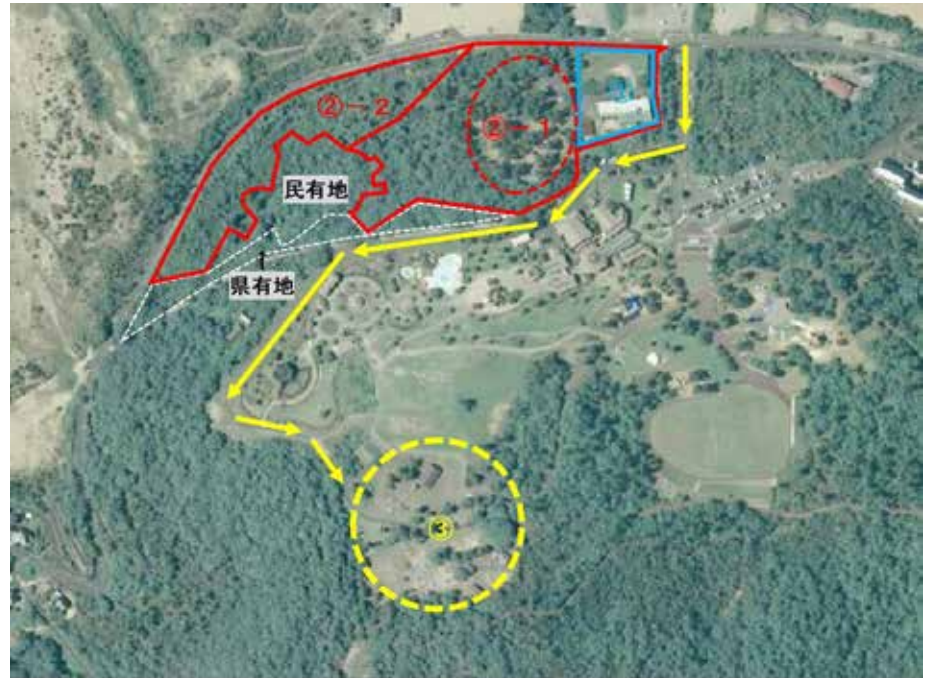
#### 〈滞在型観光施設の整備に関する市場調査結果〉

活用案 キャンプ・グランピング、青少年の宿泊、砂丘に関する学習、アウトドアアクティビティの拠点、サイクリングの拠点、星空観察(宇宙体験)、自然環境保護(SDGs)活動、こどもの国等周辺施設との連携 など

- 検討事項
- (1) サイクリングターミナルの扱い
  - (2) 両キャンプ場の一体利用を図るための整備
  - (3) ビジターセンター西側施設(仮称)・休憩舎へのアクセス改善
  - (4) 境界整備、こどもの国キャンプ場への進入路整備
  - (5) 民営化後の学校利用の扱い
  - (6) 柳茶屋キャンプ場の無料キャンプ場としての扱いなど

スケジュール 令和3年度中公募型プロポーザルの実施(予定)  
令和4年度中事業着手(予定)

## 鳥取砂丘西側整備構想について



- サイクリングターミナル
- 柳茶屋キャンプ場
- こどものくにキャンプ場
- # 現在の進入路
- # (実際の利用範囲)

※上記のイメージは公園(正確な測量によらない図面)をもとに作成しており、土地の実態を正確に反映していません。おおよその位置や形状を検討する上での参考としてください。

## 会派新生

「会派新生」は、平成26年12月に「会派新」と「清和会」と「無所属」の現職議員8人と、新人議員6人の14名で結成した、保守系の最大会派です。平成30年12月の改選で、13名で新たにスタートし現在に至ります。

みなさまの「ご意見」・「ご要望」など  
鳥取市議会「会派新生」にお寄せください。

- 〒680-8571 鳥取市幸町71番地 鳥取市議会控室
- 電子メール: [kaihasinsei@gmail.com](mailto:kaihasinsei@gmail.com)
- 電話: 0857-20-3338(直通)
- FAX: 0857-20-3959



# 代表質問

## 質問した主な項目

1. 令和3年度当初予算について
2. 本市の財政運営について
3. 新型コロナウイルス感染症対策について **特集 p.2**
4. デジタル化の推進について
5. 男女共同参画について
6. 鳥取市における防災体制の整備や強化について
7. 旧本庁舎等跡地活用について
8. 第11次鳥取市総合計画に関連して
9. 鳥取市と韓国・清州市との姉妹都市交流について
10. 可燃物処理施設について
11. 鳥取市公共施設のAED設置状況について
12. 地域経済対策について **特集 p.3**
13. 公共卸売場について
14. 鳥取砂丘について
15. 森林整備に関連して
16. 農業の現状と振興策について **特集 p.2**
17. 公共交通について
18. 都市基盤整備の推進について
19. 市民体育館整備について
20. 鳥取市立学校の配置及び校区の設置について
21. 閉館・休館の体育施設について
22. 水道事業について
23. 病院事業について

令和3年2月、鳥取市発展のため質問と提言を行いました。

## 農家所得増加への支援策を

### 問

本市の農業の現状と振興策について、基幹的農業従事者数の推移と平均年齢、また農業経営体数と農用地面積、そのうち家庭経営体が占める農用地面積について尋ねる。

また、国は2030年の輸出総額5兆円の目標達成に向けた実行戦略を示し、特に日本産に強みがある重点品目として牛肉、リンゴ、米など27の重点品目を選定したが、本市に何品目含まれているのか。これまでの輸出品目、輸出額と、今後の輸出拡大による農家所得増への支援策を含め尋ねる。

### 答

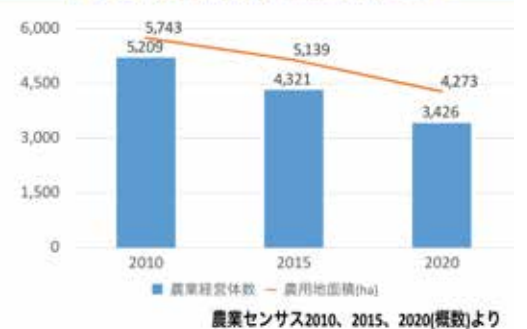
**深澤市長**：本市の基幹的農業従事者数は、2010年で5,786人、2020年には3,721人で平均年齢が71.69歳となっており、1,480人減少し平均年齢は0.69歳上昇している。2020年の農業経営体数は3,426経営体で、農用地面積は4,273haとなっている。

国が輸出重点品目として定めた27品目のうち、農畜産物は牛肉、果樹、野菜、切り花、米などの14品目となっており、これらは全て本市で生産されている。鳥取県下での輸出実績は、国の輸出重点品目である牛肉やブドウのほか、重点品目ではないが、梨や柿なども輸出されている。令和元年度の県下の農林水産物、加工品の輸出額は、鳥取県の統計によると約18.7億円で、主に台湾や香港、アメリカに輸出されている。輸出には、市場調査はもとより、国ごとに異なる検疫条件や残留農薬基準、また通関、輸送方法、現地での販売チャンネルの確保など様々なハードルがあるが、ジェットロや全農、地域商社などと連携して、輸出に取り組む農業者等への支援策を検討していきたい。

鳥取市の基幹的農業従事者数の推移と平均年齢について



農業経営体数と農用地面積、農用地面積について



## コロナ禍で暮らしと雇用を守り抜く支援策を

### 問

緊急事態宣言が発出され、感染が抑えられている地域においても自粛が続くなど、地元の飲食店や宿泊業は大きな影響を受けている。今こそ支援策が求められるが、飲食店や宿泊業に対する国・県・市それぞれの支援策の現状と、今後、本市としてどのような支援を講じようとしているのか。

### 答

**深澤市長**：飲食店への支援は、国のGoToEatキャンペーンの利用期間を6月30日までに延長。本市では、昨年いち早く独自のプレミアム付き飲食券を発行し昨年9月末で終了。今後は、緊急事態宣言に関する国の支援の動向を見ながら支援策を検討したい。

宿泊事業者への支援は、国のGoToトラベルキャンペーンや、県のWeLove鳥取キャンペーンが実施されてきた。本市も独自の宿泊キャンペーンとして、宿泊費の1人5,000円割引や日帰りプランの1人1,000円の割引を行ってきた(宿泊は1月末、日帰りプランは2月末終了)。補正予算での新たなキャンペーンについて準備を行っているところであり、タイミングを見て開始するとともに、感染防止対策や需要回復に向けた取組についても支援していく予定。



事業者向け 個人向け  
支援の取組紹介ページ

# データに基づく政策形成により経済対策を

## 問

地方創生が始まり、内閣府が地域経済分析システムの作成を委託した価値創造研究所が「地域経済循環構造」の図を作成し、全国の全市町村単位でも見える化して、上手に活用している自治体がある。そのようななか本市は、地域経済分析システム等をどのように分析、活用し、政策に反映してきたのか、取組内容と成果を含め尋ねる。

## 答

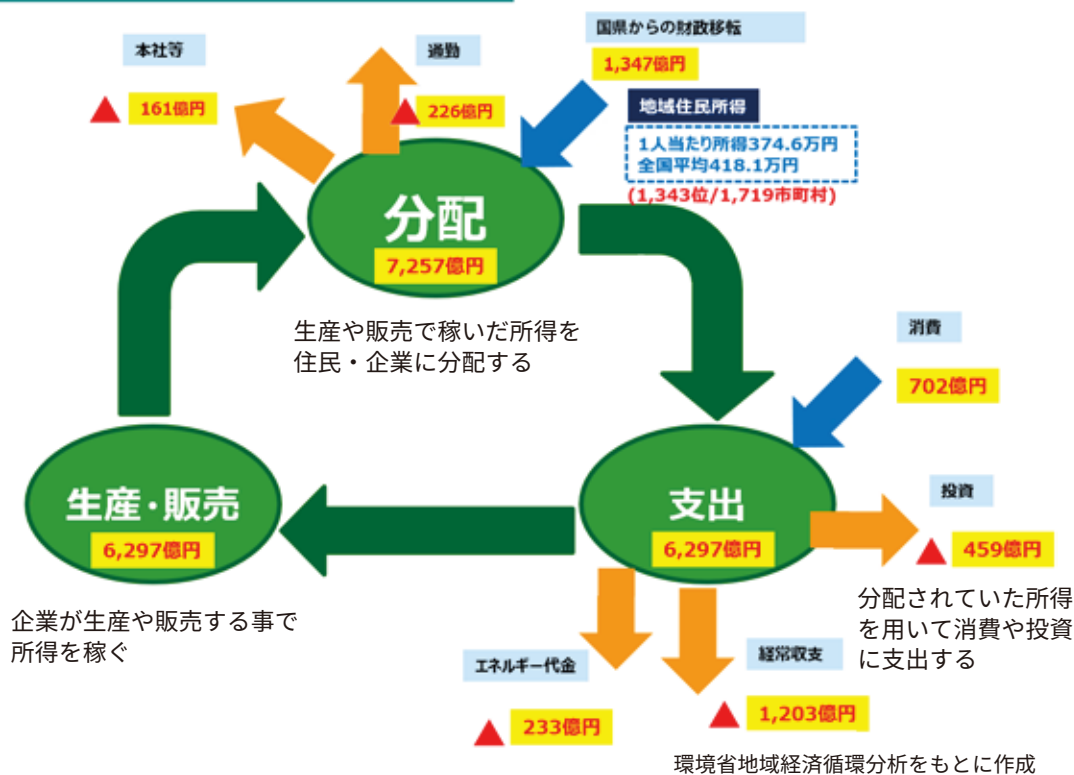
深澤市長：本市の地域経済循環の分析では、今後本市が打つべき施策の方向性は大きく次の4つであると考えている。

- ①誘致企業とのマッチングの促進については、製造業を中心に地域内での部品調達等が進むように、企業立地・支援課に企業支援推進員を配置して誘致企業も含めた企業間の受発注のマッチングを行っており、今年度は2月末現在で12件のマッチングが成立している。
- ②1次産業の高度化、また食品加工業者の立地支援については、昨年3月から企業立地の支援メニューに農業を追加して農業への企業参入の促進を図っており、今年度は鹿野町で温泉熱を利用したイチゴ栽培が始まった。食品加工業者の立地までは至っていないが、先月には地元の和菓子店が、このイチゴを活用した新製品を発売され、売れ行きも順調であるというふうに向っている。
- ③観光客の流入を生かした生産性の向上については、近年、インバウンド需要の取り込みに取り組んできた結果、順調に観光客が増加していたところではあるが、このコロナ禍の感染拡大によって非常に厳しい状況下にある。国内需要の取込みを図り、何とかこの状況を乗り越えるべく施策を展開している。

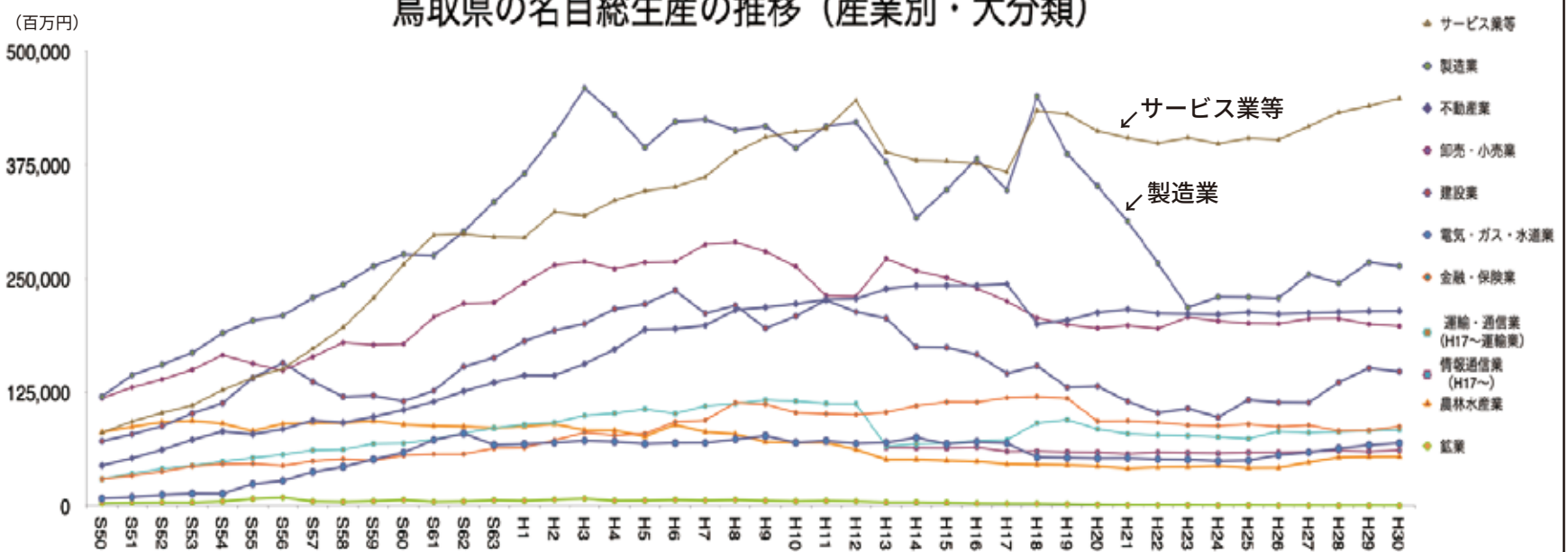
④投資需要の拡大については、コロナ禍の厳しい経済情勢の中でも企業の設備投資の促進や企業誘致に積極的に取り組んできた。その結果、雇用維持のための生産性向上や、域外から鳥取への製造移管など、製造業14社が設備投資に取り組んでおり、これからも進めていきたい。

これらのポイントを踏まえて様々な施策を進めてきたが、今後も地域所得の向上に向けて必要な施策を展開していきたいと考えている。

### 地域の所得循環構造 鳥取市 2015年



### 鳥取県の名目総生産の推移 (産業別・大分類)



鳥取県統計課県民経済計算をもとに作成



# 会派勉強会

会派新生は結成当時から鳥取市政の調査研究のため会派勉強会を行っており、令和3年度は4月に3回、7月に1回開催しました。



会派勉強会一覧はこちら

## 第41回 鳥取市の課題・人材確保について(4月14日)



- 令和3年度新たにスタートした主な計画について
- 直面する課題、今後の課題、個別の課題等について
- 人材育成と地方創生人材派遣制度について

## 第42回 森林経営管理制度と所有者不明土地の対応について(4月15日)



- 鳥取市森林づくりビジョンについて
- 森林経営管理法(平成31年4月施行)について
- 森林林野台帳と航空レーザー測量等の現状について

## 第43回 水道局年表と水道事業管理者等の課題について(4月21日)



- 地方公営企業法、水道法等と水道局年表について
- 平成10年の水道法改正による影響と入札制度について
- 大規模地震などの災害時対応について

## 新たな議会改革の検討がスタートしました

令和3年4月19日、市民により信頼され開かれた議会を目指し設置されている議会改革検討委員会(委員長 砂田典男議員)に対し、寺坂寛夫議長より新たな諮問が行われました。会派新生は、議会改革の推進のため、積極的に調査研究を進めています。

寺坂寛夫議長



## 令和3年2月・6月定例会の

# 一般質問

QRコードからこれまでの一般質問動画をご覧いただけます。

 <p>うえすぎ えいち <b>上杉 栄一</b></p> <p>議会運営委員会 委員 文教経済委員会 委員 本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会 委員 ● 日本庁舎等跡地活用に関連して ● 旧鳥取少年自然の家跡地の利活用に関連して</p>	 <p>すなだ のりお <b>砂田 典男</b></p> <p>議会運営委員会 委員 総務企画委員会 委員 ● マイナンバーカードについて ● G I G A スクール構想について</p>	 <p>ほし み けんぞう <b>星見 健蔵</b></p> <p>総務企画委員会 委員 議会改革検討委員会 委員 ● 改正種苗法について ● 人口減少問題について</p>	 <p>くも さか まもる <b>雲坂 衛</b></p> <p>建設水道委員会 委員長 ● 新型コロナウイルスワクチン副反応を疑う症状に対する医療体制に関連して ● 学校図書の実態に関連して ● 教科書採択に関連して</p>
 <p>うおさき いさむ <b>魚崎 勇</b></p> <p>福祉保健委員会 委員 議会改革検討委員会 委員 ● 市街化区域地における耕作地について ● 鳥取市の自転車移動環境について ● 不法投棄について</p>	 <p>よこやま あきら <b>横山 明</b></p> <p>議会運営委員会 委員長 総務企画委員会 委員 ● 災害対策基本法改正について ● ため池について ● 鳥取市防災ラジオについて</p>	 <p>あさの かずたか <b>朝野 和隆</b></p> <p>文教経済委員会 副委員長 本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会 委員 議会広報委員会 委員 ● 子育てしやすい環境整備について</p>	 <p>にしむら しんいちろう <b>西村 紳一郎</b></p> <p>文教経済委員会 委員 議会広報委員会 委員長 ● 誰もが暮らしやすい地域をどうつくるか、地域共生社会への取組について</p>
 <p>よし の きょうすけ <b>吉野 恭介</b></p> <p>総務企画委員会 委員長 本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会 委員 ● 鳥取市の情報政策の推進について ● ヤングケアラーについて ● 地域活性化について</p>	 <p>かとう しげき <b>加藤 茂樹</b></p> <p>議会運営委員会 委員 福祉保健委員会 委員 議会改革検討委員会 委員 ● 気高町・大堤池に関連して ● 鹿野温泉・浜村温泉地内の管理不全な状態のコテージ・旅館に関連して</p>	 <p>おかだ のぶとし <b>岡田 信俊</b></p> <p>建設水道委員会 委員 本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会 委員長 議会広報委員会 委員 ● G I G A スクール構想について ● 第3次鳥取市食育推進計画について</p>	 <p>やまだ のぶたか <b>山田 延孝</b></p> <p>建設水道委員会 委員 ● 施策実施に伴う市債の発行と基金について ● 樋門の操作管理について</p>

※令和3年2月から、寺坂議員は議長を務めているため、一般質問は行っていません。